

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝ 8月の行事計画＝

- | | |
|-------------|------------|
| 5日（木）誕生会 | 27日（月）選択食 |
| 13日（金）選択食 | ※日付未定 変わり湯 |
| 16日（月）理髪2階 | |
| 19日（木）納涼模擬店 | |
| 23日（月）理髪3階 | |

＝ 9月の行事計画＝

- | | |
|--------------|---------------|
| 2日（木）誕生会 | 23日（木）お彼岸特別献立 |
| 10日（金）選択食 | 24日（金）選択食 |
| 20日（月）理髪2階 | 27日（月）理髪3階 |
| 20日（月）敬老会 | ※日付未定 変わり湯 |
| 21日（火）十五夜茶話会 | |

＝高齢者に対する基本姿勢＝

日本国憲法第13条に「すべての国民は個人として尊重され、生命の自由及び幸福の追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする。」と定めています。

この基本理念から認知症の人や重度の障害を持っている方、または自立行動が困難であっても、すべての方が人間としての尊厳を保障されることになっています。

高齢者介護に従事する職員として、その理念を尊重しながら、常に個人としての権利を守るために、たとえ機能の低下により自立生活に支障がある場合でも、できる限り通常の生活が保持できるように支援を行う義務を負って行動することが義務づけられています。

4年後の2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、年金・医療・介護において国の財政負担は急増していくことが心配されていますが、特に都市部における高齢者介護施設の不足や、介護人材の不足がさらに深刻になっていくことが予測されます。

平均寿命の高齢化とともに、若年層の人口が減少していく傾向が明らかであり、介護支援に従事する人材不足は、一層深刻になっていくことが心配されます。

これからの社会福祉事業を継続していくためには、福祉分野で働く人材の育成と一層の処遇改善を行って、有能な人材を育成する環境整備が、我々社会福祉法人の組織として重要な課題であると思います。

また、社会福祉法人の進むべき方向性として、地域の社会保障制度を牽引する中心的な役割を担い、地域住民の皆様と連携して、住み慣れた地域で最後までくらすことができるよう、地域包括支援体制を確立していく責任が求められることになっています。

社会福祉法では、特に地域の生活困窮者支援など、地域の福祉ニーズに対して素早く積極的に取り組んでいくことが、社会福祉法人に強く求められていますので、施設における介護支援とともに、地域における公益的な活動を行っていく責務が求められます。

そのため施設を利用されている入所者だけを介護する事業だけでなく、幅

広く地域の高齢者への公益的な支援活動が求められることになり、これからは幅広い事業展開を進んで実施していくこととなります。

福島ひまわり里親プロジェクトのひまわりが開花しました！！

先月の療育院のお知らせで紹介した“福島ひまわり里親プロジェクト”のひまわりが立派に開花しました。今後は種を収穫して福島県の福祉施設に送り返してミッションコンプリート！！



リモート“ドッグセラピー”に挑戦

以前は毎月来院して下さったドッグセラピーの和田さんとワンちゃん達ですが、新型コロナが流行してからは、中止としていました。しかしながら今回、リモートでやってみよう！ということになり、初のリモートドッグセラピーに挑戦しました！利用者様も久しぶりにワンちゃん達に会い、とても楽しい時間でした。



移動水族館が療育院にやってきました (*'▽')

葛西臨海水族園の移動水族館が施設にやってきました！！色鮮やかな熱帯魚や東京湾に生息するお魚さんに、利用者さんも皆笑顔になりました！



葛西臨海水族園のみなさん！！素敵な時間をありがとうございました！



迎え火・送り火

7月13日、16日に迎え火、送り火を行いました。厳かな雰囲気の中、ゆらゆら燃える炎が幻想的でした。

